

正しい手洗い学んだよ

たかおかこども園 中北薬品招き勉強会

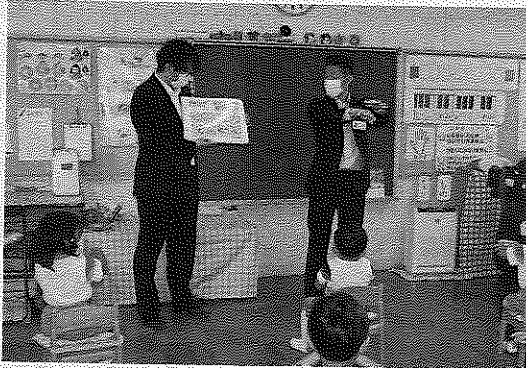


ライトを当てて洗い残しをチェック

富士市厚原のたかおかこども園で26日、年中児約60人を対象にした「手洗い勉強会」が開催された。中北薬品富士支店(法人代表)の社員4人を講師に迎え、手洗いチェック

カーによる洗い残しの確認などの体験を交えながら、感染症予防のための正しい手洗い方法について伝えた。洗い残しの確認では、クリーム状の手洗いチェックカーを使用。手にクリームを付けてブラックライトを当てると、手に付着している汚れが白く光るという仕組みで、園児たちは手のどの部分が汚れているかをチェックした。手洗い後に再びライトを当て、きれいに洗えたかを検証した。正しい手洗い方法については、社員がイラストを示しながら▽手を

正しい手洗い方法を紹介



手洗いの手順を確認した



流水でぬらす▽石けんをよく泡立てる▽両手の指の間や親指、爪の先、手首までしっかり洗う▽水で泡をよくすす

▽清潔なタオルやハンカチなどで拭く▽といった手順を分かりやすく紹介。指の間や手のひら中央のへこんだ

部分、爪などに洗い残しが見られる園児が多かったことから意識して洗うよう呼び掛けた。その上で「おうちに

帰ってもしっかりと手洗いをしてほしい。きちんと手を洗うことで病気になるにくくなる」と伝えた。園児の長崎陽大さんは「ライトを当てても汚れがなくて、ちゃんと手を洗えていたよ。これからも手洗いを頑張りたい」と笑顔で伝えた。渡邊宏行園長は「汚れを見える化し、自分で確認することで、より意識しながら手洗いができるようになるのでは。感染症予防のためにも正しい手洗いを実践し、元気に過ごしてほしい」と語った。